



158

公益財団法人 すぎのこ芸術文化振興会

2020 4/1

事務局：〒171-0022 東京都豊島区南池袋4-19-6 TEL.03-3984-2396 FAX.03-3984-2264
 映画研修センター：〒350-1315 埼玉県狭山市北入曽695-1 TEL.04-2968-4721 FAX.04-2950-7706
 演劇研修センター：〒377-1611 群馬県吾妻郡靖志村千原 TEL.0279-96-1015 FAX.0279-96-1015

2面・3面 園からの声／演育ワークシ
 ョップ開催／第33回 池袋いけいけ人
 形劇まつり／2020年度 公演スケジ
 ュール ほか
 4面 日本芸術文化振興会助成事業／制
 作だより／新作「おむすびころりん」
 ほか

http://www.suginoko.org/

E-mail: support@suginoko.org

機能的価値から 感情的価値へ

理事長 大場 隆志

アップルの創設者である故スティーブ・ジョブズが、自ら創業したアップル社から退社を余儀なくされてたことは、有名な話ですが、その後一九九〇年代にアップル社は倒産間近まで業績が落ち込んだことでも知られています。そんな苦境からアップル社を救ったのも、一度は追い出されながらも経営陣に求められて舞い戻ってきた創業者のステイブ・ジョブズ氏でした。その時にジョブズ氏が投げかけたある「問い」こそが、その後、アップル社をよみがえらせ、さらには世界最大の企業にまで成長させた原動力であったと言われています。

ジョブズ氏はアップルに戻ってきた時、自分たちの哲学をコマースナルにして伝えた言葉は「Think Different」(シンク ディファレント)でした。日本語にすると「発想を変える」、「ものの見方を変える」、「固定概念をなくして新たな発想」という感じになると思います。

さらに深い意味を考えると、多くの産業で商品の価値が機能的価値から感情的価値へシフトし、感情的価値を上げていくことが求められる中、サービスに心が動く体験を提供することや、ブランドと

しての思想・哲学を大切にすることが重要になってきているということだと思います。

感情的価値は制限がないと言えます。車、時計、お酒などが分かりやすい例ですが、安いものから高いものまで金額の差が大きく、百倍以上の金額差があることも多いようです。しかし機能的には百倍の差があるわけでもないですし、百倍の原価がかかっているわけでもありません。しかし、顧客は百倍の差に対して納得して商品を購入しています。機能的価値ではなく、その商品が持つストーリーに共感したり、感動したり、ワクワクしたりする感情的価値にお金を払っているということになります。

IP (知的財産) のキャラクターの商品もブランドと言えます。機能的価値ではなく、そのキャラクターのブランド価値に顧客はお金を払っているということです。好きなキャラクターやアーティストのオリジナルグッズを購入するのは、もちろん機能的価値ではなく、感情的価値ということになります。

例えば、タオルを購入するとしてみましょう。タオルという機能としてタオルを購入する場合、せいぜい三百円くらいだと思います。し

かし、好きなキャラクターのプリントがされているタオルとなると二千円から三千円と金額が十倍くらいになります。

感情的価値は、商品だけではなくサービスでも同じことが言え、全ての産業で、感情的価値の重要性は高まっています。

機能的価値よりも感情的価値が大切だということは、私たちが仕事をしていく上でも密接な関係があります。

これまで、社員と企業は機能的価値と引き換えに労働を提供する取引関係になっていたと思います。

巡回公演だより

はだかの王様班

吉田 薫

この作品にたずさわるまで知りませんでした。「はだかの王様」がまさか愛の物語だったなんて。

私たちの「はだかの王様」には、原作には出てこない「王妃様」が登場します。彼女はとっても天真爛漫！毎日が楽しくてうれしくて、王様も王妃様が大好き！素敵な洋服を二人で心待ちにしながら、デュエットを歌ってしまうほど。

ところが、最後のパレードで、王様は子どもに「服を着ていないじゃん」と言われてしまいます。ざわつく国民。とまどう王様。その時、パレードをそばで見っていた王妃様は、本当は自分も見えていなかったのだと正直に謝ります。

ですから働く側も「仕事をしないとお金をもらえないので生きていくためにしなければならぬ」という機能的価値で仕事をするという考え方になっていったのかもしれない。

しかし、考え方を変えれば職業選択は自由であり、自分の価値ややりたいことを仕事にすることができ、働き方の選択肢も増えてきていることから「自分の仕事で世の中を幸せにしたい」という感情的価値を求めることも可能になります。

仕事をしていく上で、感情報酬



しかし、王様はそれをとがめません。それどころか、優しく受け止めてくれるのです。そんな王様の姿を見て、「王様は服を着ていても着ていなくても、かっこいいわ！」と王妃様。これを愛と呼ぶずに何と言いましょ！

素敵ですね。きっと、王様のパ

は金銭報酬より大きな意味をもっており、感情報酬で働くパワーが人間の成長にも繋がります。ワクワクし喜びを得ながら仕事ができることは、本当に素晴らしいことだと思います。

財団法人すぎのこ芸術文化振興会としての思想・哲学を感情的価値として提供できるものは何か。他の劇団との違いは何か。私たち自身が感情的価値を感じて貢献できることは何か。

固定概念をなくした新たな発想を、これからも形にしていきたいと思っています。

このつぎなあと班

横山 美歩

約一年間このお話を演じてきましたが、『このつぎなあと』というお話は、よく知られている日本の民話とまた少し違うことに気が付かれます。まず、たぬきが怖いモノに化けますが、それは決して悪さをしに来たのではないことです。そして、語り手のせりふにあるように「おじいさんと若い息子が住んでいました」ということで、

父と息子の人形が出てきますが、子どもたちに「おばあさんは？」と問いかけることができます。いつも見るお話とは違う親子の関係や、決して悪党ではないたぬきの言動は、初めて見る子どもには複雑かもしれませんがそんな中でも子どもたちは思い思いに観て、精一杯感じ取って、このお話を楽しんでるように思えます。知らないことや分かりにくい表現もあると思いますが、子どもたちはしっかりと吸収して成長していくのだと思います。そして、大きくなって改めて感じることもあります。



温かくて切なくて、また日本の民話が好きになりました。『このつぎなあに』を多くの子どもたちに楽しんでもらい、より日本の民話が愛されるものになればと思います。

地方の仕事を任されたのは今回が2回目、いろんな地域に赴くたびに自然と懐かしさに思いを馳せてしまう。出会いの一つ一つが、思いの一つ一つが自分の心を輝かせている。

その中で今回筆を取りたいと思った出来事は、高知県吾川郡いの町にお邪魔した時のことだ。

当日の朝、会場で、「遠路はるばるありがとうございます」と言われた。

私自身すぎのこに入団して四年目、この仕事にも大方慣れてきて、いろんな地域、それこそ険しい山道を伝って行かないと辿り着けない所にも赴くことが当たり前になっていた。でもその言葉を聞いてふと気づいた。

これは本当は当たり前のことで

はないのだと。子どもに生の舞台を見せたいと思っても現実問題としてかなわない場所も沢山あるのだと。そこに私たちは当然のことのようにお邪魔して、子どもたちや先生方や親御さんを楽しんでいるんだと改めて気づか



れた。その瞬間とても胸がいっぱいになって、もっと頑張ろうと一人で奮立った。

これはきつと誰でも出来るけど、誰もがしようとしていないことなんだろう。だからこそ誇りを持って日々歩いて行きたいと思う。

もぐもぐ劇場班

石山 和佳

「ぶたさん、家の中にいるよー」と答える子どもたち、「ふふっ」と笑う先生方。「3匹のこぶた」ではこんな場面が見られます。

今回は「3匹のこぶた」と「かもとりごんべえ」のお話を上演してきました。どちらも俳優と子どもたちの掛け合いが楽しめる作品です。子どもたちの口からは、時に予想外の言葉が飛び出してくるので、緊張する一方でわくわくしながら上演に臨んでいます。

「かもとりごんべえ」に登場するのは、ごんべえさんと語り役のお姉さん、そして沢山のカモたちです。子どもたちはカモの役としてお話に参加します。お話が始まる前に、カモさんたち（子どもたち）はお姉さんから鳴き声のレクチャーを受けるのですが、ここはお姉さんの腕の見せどころでもあります。

園から 声の

このつぎなあに

■むさしの保育園（東京都昭島市）

とても楽しく観ることができました。慣れない雰囲気怖がりましたが、子どもたちが、劇が始まり人形が登場すると緊張もとけ、最後までじっと座って見ていました。

「うさぎとかめ」は知っている内容だったので観やすく、人形の動きもコミカルで楽しんできました。音楽のリズムもよく、出てくる動物も楽しめました。

「このつぎなあに」は舞台が暗くなり話の内容も難しかったが、意外にも、怖がる場面もありながらよく見ていました。

どちらの話も集中して、問いかけに答えたり、笑ったり驚いたり、様々な反応をして楽しんでいました。最後に人形たちと触れ合うことができて喜んでいました。

■いなり認定こども園（宮崎県都城市）

子どもたちが飽きることもないような工夫をされていたので、集中して観ることができました。舞台の変化なども興味深く、普段見られないものが見ることができてよかったです。

三まいのおふだ

■須恵保育園（山口県山陽小野田市）

「大きなかぶ」は小さいクラス

でも親しみのあるお話で、一緒に声をかける場面もあり、素朴な木の人形の動きも楽しく盛り上がりました。

「三まいのおふだ」は少し怖いけど身を乗り出したり、応援したりと熱中して観ていました。帰りには勇気を出してやまなばさんとタッチする姿もかわいかったです。いつも素敵な作品をありがとうございます。

■城南保育園（高知県高知市）

環境設定や話の構成がとても工夫されていて良かったです。私共が知っている「三まいのおふだ」と少し違ったストーリー展開が、とても新鮮でした。次回も楽しみにしています。

■認定こども園 愛光保育園（愛媛県松山市）

未満児（0〜2歳）が怖がる題材かと思いましたが、怖がらせすぎない配慮や工夫がたくさんされており、十分楽しめました。子どもたちは自分もお話の中に入り込んで観たり、思わず掛け声をかけたり、引き込まれていました。毎年楽しい人形劇をありがとうございます。

ももたろう

■さとのもり保育園（鹿児島県薩摩川内市）

いつも期待を裏切らない（！）内容で、子どもたちも大人も十二分に楽しんでると思います。ハードスケジュールで子育てに頑張っている若いパパやママが、一年に一度親子でほっとくつろぎながら、楽しくワクワクした世界に浸れる時間があるのっていいですね。

■しょうしん月の森こども園（鹿児島県曾於市）

作品に入る前の導入など、子ど

はだかの王様

■しおやこども園（兵庫県神戸市）

王様がはだかになってしまったことが面白かったようで、終わってから、王様の服の話子どもたちで楽しそうに話していました。乳児クラスも様々な音楽に反応し、手拍子をしたり、体を揺らしてリズムをとったり、楽しんでいました。

最後にハイタッチでお別れできたのも、とてもうれしかったようです。

■日進保育園（三重県多気郡大台町）

「はだかの王様」は、0、1歳児には難しい内容だと思っていましたが、子どもたちは夢中になって観ていて、50分間も観ていたと分かってびっくりしました。それだけわかりやすい内容のものであったのだと思います。0〜5歳児まで、みんな面白かったと言っていました。

もぐもぐ劇場

■おおぞら保育園（茨城県猿島郡境町）

ステキな声とノリのよい音楽で、楽しい劇に引き込まれました。「3匹のこぶた」は、子どもたちの大好きなお話で、怖いけどちょっとおもしろいオオカミがよかったです。「ねずみの嫁入り」は、太陽、雲、風もリアルな顔で、こういう表現もあるのか！と。

二つのお話、とても楽しかったです。

子どもたちが楽しい気持ちでカモさんになれるように、かつ盛り上げすぎて本編の邪魔をしないように。時間が早すぎても遅すぎてもいけない（大人の事情で）。子どもたちの反応を見ながら、少しずつ工夫して上演しています。

カモさんたちの中には、子ガモも親ガモもいます。先生方もぜひカモになりきって、お話を楽しんでみてください。

ももたろう班

長谷川 唯

すぎのこの作品は、四年かけて全国を回るため、四年周期で新しい作品と入れ替わります。2019年度、最後を飾る作品は、日本の昔話でおなじみの『ももたろう』。そんな集大成である年に、ずっとやってきた桃太郎を務めることになり、心躍った昨年の3月。一年間、同じ役で、たくさん公演をしてきましたが、桃太郎を演じられて楽しかったです。

五年間すぎのこでやってきて思ふのは、人形だからこそ吹き込める表現があるということ。自分が表立つ演技は、自分自身として見られている感覚が強く、硬くなってしまう。そんな私ですが、人形を通してなら、子どもたちと等身大の気持ちで演じられる気がするのです。

桃太郎の存在が私を素直にさせ、それが桃太郎としてみんなに届く。そうやってお互いを創り、自分の内側に秘めているものを引き出してくれる。そんな不思議な魅力が人形劇にはあります。

私は、子どもたちの素直な感性が好きです。大人になると現状維

持にしがみ付き、変化を恐れる。「どうせ」と決めつけたり、「自分には関係ない」と、保身に走る。『勇気を出して一歩踏み出す』ことが難しくなる。桃太郎は、自分の大切な人たちの為に勇気を出して怖いものに立ち向かいます。



演育ワークショップ開催

1月25日(土)及び2月8日(土)に「人形劇と演育ワークショップ」のイベントをソプラテイコ狭山の狭山の湯ラウンジにて開催しました。両日とも多くのお客様がご来場くださり、赤ちゃんからご年配の方まで、みんなで歌を歌ったり、手遊びをしたり、人形劇を楽しみました。

演育ワークショップでは、ジェスチャーだけでお題を相手に伝えるゲームや、普段の動作をゆっくりやってみるゲーム、そしてオノマトベから連想する動きをするゲームなど、身体表現のトレーニングを中心に行いました。

子どもたちは恥ずかしそうにしながらも一生懸命になって参加し、大人が参加する場面では、ノリノリで身体を動かしている大人に圧倒されながらも、ニコニコしながら

日本の昔話は、幼少期のみならず、心の基として大事なことが込められていると思うのです。それを教え、護ることができるのは大人である私たち。微力ではあるけれど、この仕事を通して伝えることが今の私の役目だと思っています。

最後に、四年間使い続けて、あらゆる箇所が取れては直しを繰り返しながらも、子どもたちとの触れ合いを共にしてきた人形たちへ「お疲れ様」。

じいちゃん、ばあちゃんの優しさが詰まった人情あふれる脚本。音響、舞台美術、演出、俳優、制作：そして観てくれる人。作品に関わった全ての方へ「ありがとうございます」。

らワークショップを楽しんでいたようです。

今回は身体表現を中心にしたゲームを行いました。自分の思った通りに体を動かすことは、なかなか難しかったようです。これからはコミュニケーション能力や表現力を磨くワークショップを実施していきたいと思っていますので、ぜひ皆様ご参加ください。

(福島 亜紀)



第33回

池袋

いけいけ

人形劇まつり

毎年5月に開催している人形劇まつりが、今年も、5月4日(月・祝)、昨年と同じ、南大塚地域文化創造館・南大塚ホールにて開催されます。学生、アマチュア、プロの劇団の個性あふれる作品で、全館が人形劇であふれ、家族そろって楽しめるお祭りです。すぎのこも毎年参加しており、今年もホールにて、人形劇「このつぎなあに」を上演します。ご来場をお待ちしております。

(なお、諸事情により、中止せざるを得ない場合等が考えられますので、詳しくは「池袋いけいけ人形劇まつり」公式HPをごらんください。)

2020年度 公演スケジュール

時期 地域	5 ～ 7月	8 ～ 12月	1 ～ 3月
北海道	はだかの王様		
東 北		このつぎなあと	
関 東		三まいのおふだ (12月)	はだかの王様
信 越	このつぎなあと		
北 陸			
東 海			このつぎなあと
近 畿			
中 国		おむすびころりん	
四 国			おむすびころりん
九 州	おむすびころりん	はだかの王様	三まいのおふだ
		未定	このつぎなあと
沖 縄		三まいのおふだ (11～12月)	

その他、関東を中心に『3匹のこぶた』『小坊主ずいてん』

『ねずみの嫁入り』『かもとりごんべえ』なども巡回しております。

「そっくりのくりのき」を観劇してくださった飯能第一小学校(埼玉県)の皆さんから、感想が届きました！一部ご紹介いたします。

しょくぶつつていきていけるんだなって、おもいました。ありがとうございました。

てっぼうのひとがぞんびになめられたところが、おもしろいです。

ながればしがあそびにくるところが、たのしかったです。

すぎのこせんせいのげき、たのしいげきでした。すぎのこせんせい、おばけのげきをみせてくれて、ありがとうございました。

こないだは、ありがとうございました。さいごらへんがすごくかんどうしました。しかも、お友だちがすごくかんどうして、ないてまでかんどうしてました。



2020年度 すぎのこ巡回人形劇・新作

「おむすびころりん」

『おむすびころりん』は、日本昔話の中でも、特になじみが深く、愛され続けているお話の一つだと思います。「おむすびころりん」と声に出して言ってみると、その響きは何ともかわいらしく、温かい気持ちになります。

それは、「おむすび」が、時代が変わっても、手軽に食べられる身近な食べ物であると同時に、いざとなれば「おむすびがあれば、生きていける」と思えるような確かな存在として、日本人の心に深く根付いているからなのかもしれません。大切な人のために、心をこめてつくられた「おむすび」は、食べると元気が湧いて、自然と笑顔がこぼれ優しい気持ちになれる。そんな「おむすび」をつくる気持ちで、この脚本を書かせていただきました。観終わった時に、「おむすび」が食べなくなっちゃうような、すぎのこの新作人形劇「おむすびころりん」を楽しみにしてください。(脚本/さかぐち ふみ)



*

いよいよ、待ちに待った「おむすびころりん」がすぎのこ巡回人形劇の作品としてスタートします。この作品は、以前、観たい作品のアンケートでは、常に上位でしたが…。なぜか、今まで製作したことがなく、今回、初めてとなります。

制作にあたり、ただ、ストーリーをなぞるのではなく、「すぎのこのおむすびころりん」として、何を子どもたちに伝えたいかを脚本のさかぐちさんとも話し、現在、人形、舞台、音楽などが出来上がってきています。

今年度は、5月から九州地方、9月から中国、四国を巡回公演します。ご期待ください！(下村 あきら)



独立行政法人 日本芸術文化振興会 助成事業



昨年5月より実施しております、日本芸術文化振興会の芸術文化振興基金による助成事業、「平成31年度はだかの王様全国巡回公演」を終了いたしました。

今回本作品を取り上げたのは、日本の未来を担う子どもたちに、他人の意見に流されることなく、自主性を持って考え、行動していった欲しいという願いからでした。「王様ははだかである」という、誰の目から見ても分かる真実を疑う登場人物に対して、私たちは「いくらなんでもそれはないだろう」と思いますが、ふと現実世界にかえって考えたとき、決して飛躍し

た例え話ではないことに気づかされます。この事業を通し、子どもたちだけでなく、大人の方々にも何かメッセージを伝えられたと、そう願っています。

詳しい上演日数や上演回数は次号にてご報告させていただきます予定です。本公演をご観劇いただいた皆様には、心より感謝申し上げます。芸術文化振興基金による助成事業での巡回は終了いたしました。が、「はだかの王様」は今年度以降も引き続き各地方を巡回いたしますので、どうぞよろしくお願いいたします。

(福島 亜紀)

制作



寒い冬が終わり暖かい春がやってきました。でも、暖冬と言われ、雪不足などが問題になりましたね。すぎのこは全国各地を巡回しております。山道などを走ることも多いので雪が降ると大変ですし、暖かい方がいいに決まってる！と思いますが、少ないとそれはそれで大変なようです。確かに、楽しみにしていたイベントなどが雪不足の影響でできなくなったり、規模が縮小されたりしてしまうととても残念です。せっかく四季があるのですから、冬は冬らしく楽しみたいですね。

賛助会員を募集しています！

賛助会は、すぎのこの理念・目的に賛同する個人や団体の方々に、当財団の活動を側面から支援していただくものです。

1. 賛助会に関する基本事項に関しては、定款第45条によるものとする。
2. 賛助会は、当法人の目的に賛同し、事業や業務を支援する個人・団体賛助会員からなりその内容は次のとおりとする。
- (1) 賛助会費を納める「会費制賛助会員」

個人	年額	3,000円 以上
団体	年額	10,000円 以上
- (2) 知識、技能、労力を提供する「技能制賛助会員」

個人	年間	3日間以上
団体	年間	5日間以上
3. 賛助会員になろうとする者は、申し込み用紙に必要事項記入のうえ、会費(技能提供予定書)を添えて当法人事務局に提出し理事長の承認を受けなければならない。
4. 納入された会費は管理運営費並びに賛助会運営費に使用する。
5. 賛助会員が退会しようとする場合、所定の退会届に必要事項記入のうえ、当法人事務局に届け出る。
6. 会費制賛助会員が二年以上会費を滞納した場合、技能制賛助会員が二年以上知識、技能、労力の提供がなかった場合は、自然退会として扱う。
7. 理事長は、賛助会員の当法人への理解や支援、賛助会員同志の意志の疎通や親睦を図るため、会員の中から若干名の世話人を選び、世話人の中から代表世話人を選任し世話人会を設置する事が出来る。
8. 世話人会が設置された場合、世話人は代表世話人の下に、前4項の目的を達成するための事業や業務を、理事長の指導のもとに企画し実施する事が出来る。
9. 賛助会員は、この法人が刊行する図書及出版物等の優先的配布、その他この法人の行う行事に関して優先的な取り扱いを受ける事が出来る。
10. 賛助会員が、会員として相応しくない行為があると認められる時は、世話人会及び理事会の、各々3分の2以上の議決により除名する事が出来る。
11. 前項の理由により除名する場合、理事長は、予め本人からの文書または口頭での意思表示を求め、理事会において最終判断をする。
12. 納入された会費及び提供された技能はいかなる理由があろうとも返還はしない。
13. この賛助会規程を改廃しようとする場合、理事会の議決を経なければならない。

ただ今年の冬はそれだけではなく、いちだんと健康に気を付けなければいけないことが多かったように感じます。私たちも健康管理をしっかりして、全国の子どもたちに良い舞台を届けていきたいと思っています。

そして春を彩る桜も楽しんだ後、すぎのこは毎年恒例の無料観劇会を4月29日(水・祝日)に開催いたします。場所はソプラテイクコ狭山敷地内にあります狭山研修センターにて10時から行います。詳しくは、すぎのこホームページをごらんください。ぜひ皆様のお越しをお待ちしております。

(菅谷 香純)

【お詫び・訂正のお知らせ】

2020年1月1日発行の季刊紙すぎのこ157号に誤りがございました。深くお詫び申し上げますとともに、左記の通り訂正させていただきます。

(1面)

【誤】劇団すぎのこが誕生したのも一九六四年九月八日

【正】劇団すぎのこが誕生したのも一九六四年八月一日

活動記録(令和2年1月~3月)

- | | |
|----------|---------------------------------|
| 1/6 | 第三学期全国巡回公演開始 |
| 1/25・2/8 | 演育ワークショップ |
| 2/7 | 於・ソプラテイクコ狭山第17回定例理事会 於・当公益財団事務所 |
| 2/26 | 第4回臨時評議員会 於・当公益財団事務所 |
| 3/17 | 第三学期全国巡回公演終了 |
| 3/31 | 令和元年度事業計画書並びに収支予算書を内閣府に提出 |